

特別企画：和歌山県内企業メインバンク調査

紀陽銀行が全地域、全業種でシェアトップ ～第2位はきのくに信金、上位2行でシェア8割～

はじめに

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化が響き、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。上場地銀の2020年4-9月期中間決算では、発表分のうち6割にあたる49行・グループの最終損益が減益・赤字となった。各金融機関ではこれまで、店舗統廃合や人員削減を積極的に推し進めたコスト圧縮や、フィンテックなどIT化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など攻防含めた生き残り策を続けてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態に直面するなか、融資先企業の業績悪化などから与信費用が増加するといった逆風も吹いている。

折しも、菅義偉首相が「地銀は多すぎる」と述べるなど、金融機関の再編圧力は再び高まっている。近畿では2020年1月に大阪の第二地銀である大正銀行と徳島銀行が合併し、徳島大正銀行が誕生。地銀再編が進むなか、収益力向上とともに、地元での存在感、広域化、コンサルティング機能向上など生き残りのために独自色を打ち出した施策が求められている。

帝国データバンク和歌山支店では、2020年11月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている和歌山県内の企業(12,590社)がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2020年1月に続き5回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した

調査結果（要旨）

1. 和歌山県内の企業がメインバンクとする金融機関のトップは「紀陽銀行」で、全体の63.8%を占めた。2位に「きのくに信金」(16.6%)が続き、上位2行でシェア8割を占める
2. 地域別では、いずれの地域でも「紀陽銀行」がトップで、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「紀北エリア(和歌山市除く)」(66.2%)で最高。地域密着型の信用金庫、農協に加え、ゆうちょなどの金融機関も存在感示す
3. 業種別では、主要8業種全てで「紀陽銀行」がトップ、「きのくに信金」がこれに続いた。「紀陽銀行」のシェアは「サービス」(67.5%)で最も高い

1. 県内ランキング～紀陽銀行が63.8%でトップ～

和歌山県内の企業がメインバンクとする金融機関は、「紀陽銀行」（和歌山市）が8,037社（前回調査比120社減）、構成比63.8%（同0.4ポイント減）で社数、シェアともに減らしたものの、前回調査に続き2位以下に大差をつけて首位をキープした。2位は「きのくに信金」（和歌山市）の16.6%（2,091社）。上位2行の合計は80.4%（同0.4ポイント減）で前年同様に8割以上のシェアを維持した。

県内に本店を置く金融機関では、「新宮信金」（238社、構成比1.9%）が、前回調査比3社減少したが6位を維持したほか、11位には「紀南農協」（72社、0.6%）が続いた。県外に本店を置く金融機関をみると、「南都銀行」（奈良市、366社、2.9%）が4位に、「第三銀行」（三重県松阪市、235社、1.9%）が7位に入っている。大手4行でも順位の変動はなく、3位に「三菱UFJ銀行」（409社、3.2%）、5位に「三井住友銀行」（306社、2.4%）、8位に「りそな銀行」（96社、0.8%）10位に「みずほ銀行」（86社、0.7%）となった。

メインバンク 社数上位20行

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	8,037	63.8%
2	(2)	きのくに信金	2,091	16.6%
3	(3)	三菱UFJ	409	3.2%
4	(4)	南都	366	2.9%
5	(5)	三井住友	306	2.4%
6	(6)	新宮信金	238	1.9%
7	(7)	第三	235	1.9%
8	(8)	りそな	96	0.8%
9	(9)	商工中金	94	0.7%
10	(9)	みずほ	86	0.7%
11	(11)	紀南農協	72	0.6%
12	(12)	関西みらい	63	0.5%
13	(12)	池田泉州	62	0.5%
14	(14)	ありだ農協	51	0.4%
15	(15)	紀州農協	48	0.4%
16	(16)	ゆうちょ	45	0.4%
17	(17)	紀北川上農協	36	0.3%
18	(18)	百五	27	0.2%
19	(19)	ながみね農協	20	0.2%
		みくまの農協	20	0.2%
		なごさ信漁連	20	0.2%

2. 地域別ランキング

地域別¹では、全地域で「紀陽銀行」が1位、「きのくに信金」が2位となり、上位2行の強さが際立っている。「紀陽銀行」のシェアは「紀北エリア（和歌山市除く）」（66.2%）で最高となった。また、全地域において上位の変動はなく、メインバンクの構成に大きな変化は見られない。

3位以下では、各地域での特徴が見られた。「和歌山市」では、3位から6位までを大手4行が占め、都市部で大手4行が一定の存在感を示している。紀北エリア（和歌山市除く）では、奈良を基盤とする「南都銀行」が3位を維持。「紀中エリア」では3位に「ありだ農協」、4位に「紀州農協」と地元農協がランクイン。「紀南エリア」においては、当エリアを地盤とする「新宮信金」が3位に、「紀南農協」が6位に入っている。また4位には三重県松阪市に本店を置く「第三銀行」が入った。

地域別メインバンク社数上位行

【和歌山市】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	3,202	64.8%
2	(2)	きのくに信金	768	15.5%
3	(3)	三井住友	258	5.2%
4	(4)	三菱UFJ	211	4.3%
5	(6)	りそな	78	1.6%
6	(5)	みずほ	73	1.5%
7	(7)	商工中金	64	1.3%
8	(8)	第三	56	1.1%
9	(9)	池田泉州	49	1.0%
10	(10)	南都	47	1.0%

【紀北エリア（和歌山市除く）】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	1,909	66.2%
2	(2)	きのくに信金	379	13.1%
3	(3)	南都	317	11.0%
4	(4)	三菱UFJ	57	2.0%
5	(5)	紀北川上農協	36	1.2%
6	(6)	三井住友	35	1.2%
7	(7)	関西みらい	25	0.9%
8	(8)	ながみね農協	20	0.7%
9	(9)	商工中金	19	0.7%
10	(9)	紀の里農協	16	0.6%

【紀中エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	1,372	63.2%
2	(2)	きのくに信金	626	28.8%
3	(3)	ありだ農協	51	2.3%
4	(4)	紀州農協	43	2.0%
5	(5)	三菱UFJ	11	0.5%
	(6)	ゆうちょ	11	0.5%
7	(7)	三井住友	8	0.4%
	(8)	商工中金	8	0.4%
9	(9)	近畿産業信組	5	0.2%
		なぎさ信漁連	5	0.2%

【紀南エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	1,554	59.9%
2	(2)	きのくに信金	318	12.3%
3	(3)	新宮信金	238	9.2%
4	(4)	第三	174	6.7%
5	(5)	三菱UFJ	130	5.0%
6	(6)	紀南農協	70	2.7%
7	(7)	百五	27	1.0%
8	(8)	みくまの農協	20	0.8%
9	(9)	ゆうちょ	9	0.3%
10	(10)	なぎさ信漁連	7	0.3%

¹ エリアの区分は次のとおり

紀北エリア＝海南市、海草郡、紀の川市、岩出市、橋本市、伊都郡

紀中エリア＝有田市、有田郡、御坊市、日高郡

紀南エリア＝田辺市、新宮市、西牟婁郡、東牟婁郡

3. 業種別ランキング

主要8業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「サービス」「運輸・通信」「農林・漁業・水産」「不動産」）別の上位金融機関は以下の表の通り。「紀陽銀行」が全業種にわたって5割超のシェアを占めてトップとなった。とりわけ「サービス」は67.5%、「建設」は66.1%と高いシェアとなっている。

2位は全業種で「きのくに信金」が占めた。また、「三菱UFJ銀行」が「卸売」「小売」「不動産」で3位に、「南都銀行」も「建設」「製造」「運輸・通信」で3位となった。「三井住友銀行」は「運輸・通信」「サービス」で3位を維持した。

県内の金融機関では、「新宮信金」が「建設」「小売」「不動産」で5位、「サービス」で6位、「卸売」で7位にランクイン。県外の金融機関では、「南都銀行」が6業種で、「第三銀行」が5業種で引き続きランクインしている。

主要8業種別メーンバンク社数上位行

【建設】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	2,823	66.1%
2	(2)	きのくに信金	822	19.3%
3	(3)	南都	105	2.5%
4	(4)	第三	89	2.1%
5	(5)	新宮信金	83	1.9%
6	(6)	三菱UFJ	68	1.6%
7	(7)	三井住友	53	1.2%
8	(8)	紀南農協	36	0.8%
9	(9)	ありだ農協	29	0.7%
10	(10)	関西みらい	24	0.6%

【製造】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	877	60.4%
2	(2)	きのくに信金	221	15.2%
3	(3)	南都	77	5.3%
4	(4)	三菱UFJ	75	5.2%
5	(5)	三井住友	40	2.8%
6	(6)	商工中金	36	2.5%
7	(8)	りそな	24	1.7%
8	(7)	みずほ	23	1.6%
9	(9)	第三	21	1.4%
10	(10)	新宮信金	13	0.9%

【卸売】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	759	61.8%
2	(2)	きのくに信金	187	15.2%
3	(3)	三菱UFJ	67	5.5%
4	(4)	三井住友	54	4.4%
5	(5)	南都	39	3.2%
6	(6)	第三	33	2.7%
7	(7)	新宮信金	27	2.2%
8	(9)	りそな	15	1.2%
9	(8)	みずほ	14	1.1%
10	(11)	池田泉州	9	0.7%
	(10)	商工中金	9	0.7%

【小売】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	971	60.6%
2	(2)	きのくに信金	305	19.0%
3	(3)	三菱UFJ	81	5.1%
4	(4)	南都	60	3.7%
5	(5)	新宮信金	51	3.2%
6	(6)	三井住友	26	1.6%
7	(7)	第三	25	1.6%
8	(8)	りそな	15	0.9%
9	(9)	みずほ	11	0.7%
10	(9)	池田泉州	10	0.6%

【運輸・通信】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	262	60.1%
2	(2)	きのくに信金	70	16.1%
3	(4)	三井住友	20	4.6%
	(3)	南都	20	4.6%
5	(5)	商工中金	14	3.2%

【不動産】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	317	57.8%
2	(2)	きのくに信金	95	17.3%
3	(3)	三菱UFJ	29	5.3%
4	(4)	三井住友	23	4.2%
5	(5)	新宮信金	12	2.2%

【サービス】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	1,933	67.5%
2	(2)	きのくに信金	369	12.9%
3	(3)	三井住友	86	3.0%
4	(4)	三菱UFJ	72	2.5%
5	(5)	南都	55	1.9%
6	(6)	新宮信金	47	1.6%
7	(7)	第三	44	1.5%
8	(8)	ゆうちょ	29	1.0%
9	(9)	紀南農協	20	0.7%
10	(10)	なぎさ信漁連	18	0.6%

【農林・水産】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	紀陽	52	56.5%
2	(2)	きのくに信金	12	13.0%
3	(3)	紀南農協	5	5.4%
4	(3)	紀北川上農協	4	4.3%
5	(5)	紀の里農協	3	3.3%
	(8)	紀州農協	3	3.3%

4. まとめ

和歌山県下のメインバンクは、引き続き上位2行の地元を地盤とする地域金融機関が8割を超える高いシェアを維持している。地域別でみると、和歌山市では大手4行が上位2行に続いているが、それ以外の地域では、地域密着型の信用金庫、農協に加え、ゆうちょなどの金融機関が存在感を示している。また、業種別でみると、「サービス業」「建設業」ではトップの「紀陽銀行」のシェアが突出して高いことが明らかとなった。

その一方で近年は、少子高齢化による地域人口の減少や低金利政策の長期化など収益を上げづらい環境が続いている。今後は顧客から選ばれるために、オンライン融資などのサービス拡充や、事業承継・創業支援といったコンサルティングメニューの展開など地域金融機関が独自色を打ち出す必要が増すこととなるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 和歌山支店 担当：馬場 基史
TEL 073-433-3128 FAX 073-422-6190

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。